

令和5年度病害虫発生予察指導情報

(果樹類・クサギカメムシ)

令和5年12月1日

鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) ベニヤ板トラップ調査によると、クサギカメムシの越冬成虫数は、トラップあたり26.3頭と
平年(7.5頭)に比べて多かった。

表1 ベニヤ板トラップ調査*によるクサギカメムシの越冬量

調査地点	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	平年**
鳥取市佐治町	0	9.5	6.5	5.5	9.0	1.5	8.0	24.0	5.7
鳥取市河原町	19.5	25.0	29.0	24.5	8.0	13.5	8.5	50.5	18.3
八頭町	6.0	3.5	9.0	8.5	3.0	4.0	4.5	35.0	5.5
湯梨浜町	6.5	3.0	7.5	10.5	7.5	15.0	3.5	49.0	7.6
倉吉市関金町	2.0	1.0	2.5	0.5	1.0	0.5	0.5	2.5	1.1
倉吉市	-	3.4	54.0	11.0	12.5	24.0	8.5	39.0	18.9
北栄町	2.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	0	9.5	0.8
琴浦町	10.0	5.0	17.0	8.0	7.0	30.0	8.5	35.0	12.2
大山町	0.5	7.0	4.0	0.5	3.0	9.5	1.0	9.5	3.6
南部町	5.0	3.0	10.5	2.0	0.5	0	0.5	9.0	3.1
平均	5.7	6.1	14.1	7.2	5.3	9.9	4.4	26.3	7.5

* 表中の数字は、トラップあたりの成虫数を示す。設置数は2トラップ/地点

** 平年はH28または29年～R4年までの平均値を示す。

調査方法：9月27日～10月5日にベニヤ板トラップ(4層)を各地点に設置。地点あたり2トラップ、ベニヤ板間の隙間は5mm。
11月29日、11月30日にトラップを回収後、トラップあたりのクサギカメムシ越冬個体数を調査。

変更・改良点

- ① 平成28年度、隙間サイズ5mmに統一。八頭町、倉吉市、琴浦町は調査地点を変更。
- ② 平成29年度、調査地点に倉吉市を追加。
- ③ 平成30年度以降、変更なし。

2. 防除上注意すべき事項

- (1) クサギカメムシは、果樹園内の作業小屋などで越冬しているため、休眠期の防除対策として、3月までに小屋を清掃し、越冬成虫を捕殺しておく。
- (2) 山間地及び民家近くの果樹園で例年発生が認められる園では、春期の被害が予想されるため、成虫の飛来を注意して観察する。
- (3) 例年カメムシ類の発生が多い園では、4月以降、定期的にはほ場を見回るなどして、春先の発生量の把握に努める。